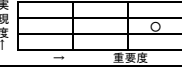
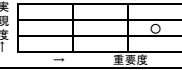
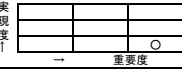
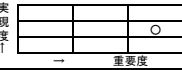
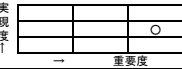
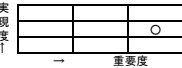
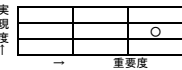
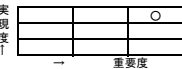
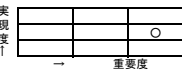
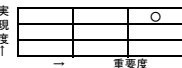
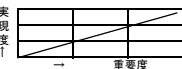
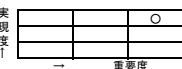
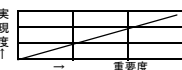
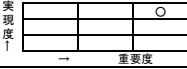
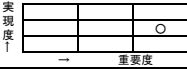
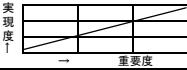
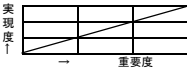
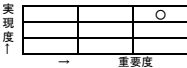
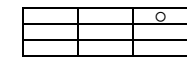
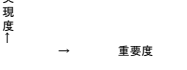
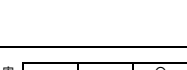
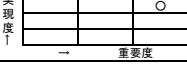


えびの市教育委員会の自己点検・評価シート(平成22年度事業分)

◎自己点検・評価の考え方

えびの市教育委員会は、政策の効果の把握、必要性、効率性等の観点から自ら評価を行い、その結果を公表することにより、政策の立案を的確に行うと共に、市民に対する説明責任を果たすため自己点検・評価を行う。教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務については、当該年度特徴のある事業等について掲載し点検・評価を行った。

大項目	中項目	小項目	点検・評価
1 教育委員会の活動	(1)教育委員会の会議の運営改善	①教育委員会会議の開催回数	 ○ 平成22年度については、11回開催した。 ○ 必要に応じ開催したことから教育委員会運営に支障をきたすことはなかった。
		②教育委員会会議の運営上の工夫	 ○ 教育委員会行事と教育委員会会議を同日に開催した。 ○ 協議の時間が十分取れるよう配慮した。
	(2)教育委員会の会議の公開、保護者や地域住民への情報発信	①教育委員会会議の傍聴者の状況	 ○ 会議の開催についての公表はしているが、平成22年度には傍聴者はなかった。
		②議事録の公開、広報・公聴活動の状況	 ○ 議事録の公開については、えびの市情報公開条例に基づいて対応している。 ○ 平成22年度の議事録公開請求はなかった。
	(3)教育委員会と事務局との連携	○教育委員会と事務局との連携	 ○ 常に連携を取り、学校教育及び社会教育並びに学校給食の推進に努めた。
	(4)教育委員会と首長の連携	○教育委員会と首長との意見交換会の実施	 ○ 平成22年12月27日にえびの市長と教育委員との意見交換を行った。
	(5)教育委員の自己研鑽	○研修会への参加状況	 ○ 平成22年度宮崎県市町村教育委員研究大会及び西諸県市町教育委員会連合協議会研修会に参加した。 ○ その他、各委員が独自の研修を行った。
	(6)学校及び教育施設に対する支援・条件整備	①学校訪問	 ○ 平成22年10月1日6日市内全小中学校の学校訪問を行った。 ○ 各学校の発表会や市教委主催の報告会では、随時各委員が出席した。
		②所管施設訪問	 ○ 学校給食の試食(平成22年10月1日・平成22年10月6日)を行った。 ○ 文化センター、体育館等の施設については随時各委員が訪問した。
2 教育委員会が管理・執行する事務	(1)学校教育又は社会教育に関する基本方針を定めること		 ○ 平成22年度えびの市教育基本方針及び教育施策を決定した。
	(2)学校、公民館及び図書館の設置、及び廃止を決定すること		 ○ 平成22年度中はなかった。
	(3)教科内容及びその取扱いの一般方針を定めること		 ○ 各校の経営方針や教育課程の承認をした。
	(4)県費負担教職員の懲戒及び県費負担教職員たる校長の任免、その他の進退についての内申すること		 ○ 平成22年度はなかった。

大項目	中項目	小項目	点検・評価
2 教育委員会が管理・執行する事務	(5) 県費負担教職員の服務の監督の一般方針を定めること		○ 職員服務規程(昭和41年宮崎県教育委員会訓令第2号)及びえびの市立学校管理規則第6章にて規程されている。
	(6) 前2号に定めるもののほか、人事の一般方針を定め及び懲戒を行うこと		○ 県費負担教職員の人事については、内申を行い県教委にて対応した。 ○ 懲戒については、市町村立学校職員の懲戒に関する条例(昭和31年宮崎県条例第39号)及び市町村立学校職員の懲戒に関する規則(昭和31年宮崎県人事委員会規則第9号)を準用する。
	(7) 県費負担教職員以外の校長の任免を行うこと		○ 平成22年度中ではなかった。
	(8) 教育委員会事務局及び教育機関の職員の任免その他の人事に関すること		○ 第8・9回教育委員会会議で人事について承認した。(平成23年4月1日付人事異動に関する議案)
	(9) 学校、公民館、及び図書館の敷地を選定すること		○ 平成22年度中ではなかった。
	(10) 1件500万以上の工事の計画を算定すること		○ 加久藤中学校耐震診断委託料。
	(11) 教育委員会規則・告示及び訓令の制定又は改廃を行うこと		○ えびの市立学校管理規則の一部改正を決定した。(第8回教育委員会会議) ○ えびの市教職員住宅の一部改正を決定した。(第8回教育委員会会議) ○ えびの市立学校運営協議会規則の制定を決定した。(第8回教育委員会会議) ○ えびの市奨学生選考委員会の一部改正を決定した。(第8回教育委員会会議) ○ えびの市民俗資料館管理規則の一部改正を決定した。(第8回教育委員会会議) ○ えびの市文化センターの設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正を決定した。(第8回教育委員会会議) ○ えびの市公民館使用規則の一部改正を決定した。(第8回教育委員会会議) ○ えびの市体育館管理規則の一部改正を決定した。(第8回教育委員会会議) ○ えびの市営運動公園使用規則の一部改正を決定した。(第8回教育委員会会議) ○ えびの市体育施設等調査嘱託設置要綱を決定した。(第8回教育委員会会議) ○ えびの市文化センター等コーディネーター嘱託員設置要綱を決定した。(第8回教育委員会会議) ○ えびの市立学校支援地域コーディネーター嘱託員設置要綱を決定した。(第8回教育委員会会議)
	(12) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案の原案を決定すること		○ 6月補正予算 第1回教育委員会会議で決定した。 ○ 市奨学生の決定について 第1回教育委員会会議で決定した。 ○ 9月補正予算 第3回教育委員会会議で決定した。 ○ 12月補正予算 第7回教育委員会会議で決定した。 ○ 3月補正及び平成22年度当初予算 第9回教育委員会会議で決定した。
	(13) 奨学生選考委員、文化財保存調査委員及び図書館協議会委員を委嘱すること		○ 奨学生選考委員を第1回教育委員会会議で決定した。 ○ 図書館協議会委員において、委嘱を一部行った。
	(14) 校長、教員その他の教育関係職員の研修の一般方針を定めること		○ 平成22年度えびの市教育基本方針及び教育施策の中で決定した。
	(15) 学齢生徒及び学齢児童の就学すべき学校の区域を設定し、又はこれを変更すること		○ 平成22年度中ではなかった。
	(16) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条の規定による点検及び評価に関すること		○ 平成21年度の点検・評価を行い公表した。

大項目		中項目		小項目	点検・評価							
3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	学校教育	生涯学習推進体制の確立と学習環境の整備		実現度↓ <table><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr></table> →重要度						○	○ 生涯学習推進会議の充実・出前講座等の情報提供・講師登録制の充実・生涯講座の開講など生涯学習の体制、環境整備を図った。 ○ 学習機会の拡充に努め、児童・生徒の「生きる力」を育むため、学校・家庭・地域社会が一体となった教育活動を進めた。 ○ 家庭・地域社会の教育力向上を図った。	
				○								
		(1)えびの市学校教育五つの挑戦	①ふるさと教育への挑戦	ア. 地域学習の推進 イ. 伝統芸能・伝統行事の継承活動の推進 ウ. 国際理解教育の推進	実現度↓ <table><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr></table> →重要度						○	○ 我が国の伝統文化を尊重する教育に関する実践モデル事業により上江小学校で伝統芸能(和太鼓踊)の継承活動を行った。また、一貫教育に伴う「えびの学」の一環として飯野小学校では麓区の和太鼓踊りの継承活動を行った。 ○ 全小中学校で新設教科としての「英会話科」、「英語表現科」を推進するためALT2名を配置した。 ○ 各学校で学校支援地域本部事業等を活かした地域人材の資源を活用したふるさと教育を実践した。
					○							
			②学力向上を図る指導への挑戦	ア. 基礎学力の充実 イ. 体験的な学習・問題解決的な学習の推進 ウ. 能力・適性を生かす教育の充実 エ. 特別支援教育の充実 オ. キャリア教育の推進 カ. へき地教育の充実	実現度↓ <table><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr></table> →重要度						○	○ 市内の小中学校で新設教科として、英会話科(市内小学校)、英語表現科(市内中学校)、えびの学を実施した。 ○ 小中学校の学力等について、現状と課題を確認するため学力向上推進協議会を開設した。 ○ 必要な学校に介護福祉士を配置した。 ○ その他各学校で実施された。
			○									
	③心の教育への挑戦	ア. 読書教育の推進 イ. 体験学習・社会奉仕活動の推進 ウ. 人権同和教育の充実 エ. 道徳教育の充実 オ. 生徒指導の充実	実現度↓ <table><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr></table> →重要度						○	○ スクールカウンセラー、スクールアシスタントを配置した。 ○ えびの市人権教育推進協議会を実施した。 ○ その他各学校で実施された。		
			○									
	④体育・健康教育への挑戦	ア. 体育・健康教育の推進 イ. 薬物乱用防止の教育の推進 ウ. 食育教育の推進 エ. 部活動の推進 オ. 安全教育の充実 カ. 学校給食の充実 キ. 規範意識(基本的な生活習慣)の高揚	実現度↓ <table><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr></table> →重要度						○	○ ジュニア大会出場者への補助を行った。 ○ 小学校体育連盟への運営補助を行った。 ○ その他各学校で実施された。		
			○									
⑤特色ある学校の創造への挑戦	ア. 地域人材活用の推進 イ. 地域活動への支援 ウ. 家庭教育への支援と連携した活動 エ. 幼保・小・中・高連携の推進 オ. 学校評議員の活用	実現度↓ <table><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr></table> →重要度						○	○ 「えびの学」の一環として実施した稲作体験、伝統文化継承活動等で多くの地域の方々の協力を得ることができた。 ○ 全中学校で小中(高)一貫教育を実施した。 ○ その他各学校で実施された。			
		○										
(2)学校の説明責任と教師の資質向上		実現度↓ <table><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr></table> →重要度						○	○ えびの市学校評議員設置要綱を定め、全小中学校に3人～5人の評議員を委嘱した。 ○ 学校の経営状況の説明及び地域の方々の意見等を生かした学校づくりに努めた。			
		○										
(3)学校施設・設備の整備充実		実現度↓ <table><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr></table> →重要度						○	○ 飯野中学校校舎耐震改修工事を行った。 ○ 真幸小学校校舎耐震改修工事を行った。 ○ 小中学校トイレ改修工事を行った。 ○ 加久藤中職員トイレ改修工事を行った。			
		○										
社会教育	(1)生涯学習の振興と社会教育の推進	①生涯学習の推進と内容の充実	ア. 家庭教育の充実 イ. 青少年教育の充実 ウ. 成人教育の充実 エ. 高齢者教育の充実 オ. 出前講座の啓発推進	実現度↓ <table><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr></table> →重要度						○	○ 家庭教育学級は学校9校、保育園・幼稚園5園の開設を行った。(学級生2234人) ○ 若者プロジェクト会議の設置し、ワークショップ等を通して青年教育を実施した。(会員15名) ○ 青少年育成市民会議の組織及び活動の体制を確立した。 ○ 出前講座については、告知のためのポスター等を作成した。48講座の利用があった。 ○ 学校支援地域本部事業では地域ボランティアに159人が登録、さらに学校における実施項目が増えた。 ○ 地区公民館に高齢者学級及び女性学級を開設した。また、長寿学園実施では29人が卒業した。 ○ 生涯学習講座8講座を開講した。	
				○								
		②公民館活動の充実	ア. 地区公民館と自治公民館の連携 イ. 「地域で子どもを育てる連絡会議」の充実 ウ. 施設の整備充実	実現度↓ <table><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr></table> →重要度						○	○ 地区公民館に社会教育指導員を配置し自治公民館との有機的連携を図った。 ○ 自治公民館活動奨励事業 36館、大人と子どもの交流活動事業13館がそれぞれ実施した。 ○ 地域づくり研修会での自治公民館活動報告や研修テーマに沿った講演等を実施し、地域リーダー269人が参加した。また館長等研修も行った。 ○ 自治公民館地域活動モデル事業で各地区公民館ごとに1館、4館を奨励した。	
		○										
③社会教育関係団体の活動の充実		実現度↓ <table><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr></table> →重要度						○	○ 社会教育関係団体への運営補助を行い、指導者育成等様々な学習機会や情報の提供等を行った。			
		○										
④視聴覚教育の推進		実現度↓ <table><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr></table> →重要度						○	○ 西諸広域行政事務組合ライブラリーの貸し出し及び16ミリ映写機免許取得などを行った。			
		○										
⑤生涯学習推進体制の確立と学習環境の整備		実現度↓ <table><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr></table> →重要度						○	○ 生涯学習推進会議の充実・出前講座等の情報提供・講師登録制の充実・生涯講座の開講など生涯学習の体制、環境整備を図った。 ○ 学習機会の拡充に努め、児童・生徒の「生きる力」を育むため、学校・家庭・地域社会が一体となった教育活動を進めた。 ○ 家庭・地域社会の教育力向上を図った。			
		○										

大項目		中項目		小項目	点検・評価						
3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	社会教育	(1)生涯学習の振興と社会教育の推進	⑤人権・同和教育の推進	実現度↓ <table><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td colspan="2">一 重要度</td></tr></table>			○	一 重要度		○ 人権問題講演会や社会教育関係団体の講座等での人権講座を開設した。 ○ 集会所事業での人権問題学習講座、識字学級、藍染教室を開設した。	
				○							
		一 重要度									
		(2)生涯スポーツの推進	①スポーツ活動の推進	実現度↓ <table><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td colspan="2">一 重要度</td></tr></table>			○	一 重要度		○ 設立した3つの総合型地域スポーツクラブへの指導・助言を行い、市民のスポーツ参加率を高め、体力向上、健康増進に努めた。 ○ 市民スポーツ大会を10競技実施した。 ○ スポーツ振興補助金交付要綱を改正し、補助額を引き上げた。	
				○							
	一 重要度										
	②体育施設の有効活用	実現度↓ <table><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td colspan="2">一 重要度</td></tr></table>			○	一 重要度		○ 市民体育館フェンス改修及び東壁の張替え工事、天井裏の改修、暗幕カーテンの取替を実施した。 ○ 加久藤地区体育館暗幕カーテンの取替を実施した。 ○ 上江地区体育館の雨漏り修繕を実施した。			
			○								
	一 重要度										
	③各種団体の指導・育成	実現度↓ <table><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td colspan="2">一 重要度</td></tr></table>			○	一 重要度		○ 体育協会、スポーツ少年団等関係団体の育成に努め、各種大会を開催した。 ○ 県内外の大会で好成績を取ることができた。			
		○									
一 重要度											
(3)文化の推進	①文化活動の振興	ア.文化振興の促進 イ.文化団体の育成 ウ.文化施設の活用	実現度↓ <table><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td colspan="2">一 重要度</td></tr></table>			○	一 重要度		○ 市民発表事業(展示・芸能・音楽)・オペラ鑑賞・太鼓フェスティバル、青少年芸術鑑賞事業、文化講座等を行った。 ○ 芸術文化協会及び郷土芸能保存連合会等の育成を行った。 ○ 文化センターの改修(コミュニティ棟空調機取替・スピーカーの取替じゅうたん張替え・壁クロス張替え)により、市民及び利用者の利便性を図った。		
			○								
	一 重要度										
②文化財の保護と活用	ア.埋蔵文化財の発掘調査、保存と活用 イ.歴史文化財や郷土芸能等の伝承と保護 ウ.ふるさと教育の推進	実現度↓ <table><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td colspan="2">一 重要度</td></tr></table>			○	一 重要度		○ 中内堅地区遺跡発掘調査報告書作成により記録保存・活用に努めた。島内地下式横穴墓群出土品遺物処理を行った。 ○ 各団体が文化祭で発表することで活性化し、市民にとって郷土芸能を鑑賞する貴重な機会となった。 ○ 歴史・民俗の学習を行った。			
		○									
一 重要度											
③資料館の充実	ア.歴史民俗資料館の活用 イ.歴史民俗資料の保存 ウ.歴史民俗資料の調査研究 エ.歴史民俗資料の公開、展示 オ.歴史民俗資料館ボランティアの養成	実現度↓ <table><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td colspan="2">一 重要度</td></tr></table>			○	一 重要度		○ 各種展示会(夏の昆虫展、ふるさと散歩展など)の開催、資料館講座、資料館体験学習講座などを実施した。 ○ 歴史資料(古文書)の解説を行い公開した。 ○ 資料館ボランティアの育成を図った。			
		○									
一 重要度											
図書館	(1)館内の内容充実		実現度↓ <table><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td colspan="2">一 重要度</td></tr></table>			○	一 重要度		○ 市民図書館において登録者数10,310人、利用者数 22,728人、貸出図書数90,414冊 であり、昨年度より伸びている。 ○ 図書に関わる各種学習講座を実施し市民に親しまれる施設として活動が行われた。 ○ 読書推進活動を積極的に推進し、多様な生涯学習の場の確立を図った。		
			○								
一 重要度											
(2)館外サービスの充実		実現度↓ <table><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td colspan="2">一 重要度</td></tr></table>			○	一 重要度		○ 移動図書館を配備して14のステーションに配本した。 ○ 学校・保育園・幼稚園は移動図書館で配本した。			
		○									
一 重要度											
学校給食センター	(1)安全で美味しい学校給食の提供		実現度↓ <table><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td colspan="2">一 重要度</td></tr></table>			○	一 重要度		学校給食は、栄養バランスのとれた美味しい給食献立の工夫・改善に、学校栄養職員が中心となって取組み、地産地消については、えびの産米「ひのひかり」を使用するなど、可能な範囲において他の食材も使用するよう配慮している。なお、各学校との連携については、給食主任会等を通じて連携を図っている。		
			○								
	一 重要度										
(2)食に関する指導の充実		実現度↓ <table><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td colspan="2">一 重要度</td></tr></table>			○	一 重要度		食育に関する指導では、学校と学校栄養職員が連携を図り、児童生徒及び保護者に正しい食に関する知識と望ましい食習慣を身に付けるよう、授業・試食会等を通じ、「献立表」や「給食だより」等の資料を活用して食育活動の充実に取り組んでいる。			
		○									
一 重要度											
(3)安全管理と衛生管理の徹底		実現度↓ <table><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td colspan="2">一 重要度</td></tr></table>			○	一 重要度		学校給食センターの施設設備は古くなっているが、老朽化した調理機材等の更新及び補修等を行い、納入食材の検収・点検を徹底し、かつ、食材の衛生的な保管・管理を図り、調理過程の安全管理と衛生管理を徹底するとともに、給食の配付・配送、保管・配膳時等の安全・衛生・温度管理に細心の注意を払い、安全・衛生管理の徹底に努めている。			
		○									
一 重要度											

総 合 評 価

1. 教育委員会の活動及び管理事務については、全ての分野について基本方針や施策を示し、実態把握・点検・指導助言援助を適切に行い改善を図っている。
2. 学校教育については、最重要課題である小・中・高及び小・中一貫教育の趣旨徹底を図るとともに、教育課程特例校指定による特色ある教育課程の編成に取り組んだ結果、総合的に少しではあるが学力向上が見られた。学力向上等五つの挑戦については、意識の高揚などなお一層の推進が必要である。
3. 社会教育については、生涯学習推進のため出前講座・講師人材登録等の普及とともに、特に自治公民館活性化モデル事業など自治公民館を中心とした生涯学習の体制を強化した。また、子育て環境を進めるため、親育て講座・子育て支援講座・世代間鑑賞事業などの各種事業を実施した。文化振興においては、芸術家を招聘しての舞台鑑賞会・市民手作りの音楽会などを実施するとともに郷土の資料の公開及び文化財の保護に努めた。体育振興については、特にスポーツ少年団の育成支援に努め、施設面において老朽化による各種整備を進めた。
今後、さらに生涯学習の推進体制を図りつつ、心豊かな意欲ある人づくりのための各種事業に努めていく必要がある。
4. 図書館運営については、指定管理者により高度情報化社会の多様な学習機会への対応や住民サービス向上を図った。学校給食については、地元産の食材を使用する等安全で美味しい給食の充実に努めた。